

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名 (Blue Room Management Operation), 事業区分 (New/Continued), 担当 (Responsible), 政策体系 (Policy System), 予算科目 (Budget Item), and 法令根拠 (Legal Basis).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table (1) 事務事業の概要 (Overview of Business Activities) with two main columns: ①事務事業の概要 (Overall Business Overview) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (Business Content/Methods/Procedures).

Table (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移 (Means, Targets, Intentions, and Trends of Indicators). Includes sub-tables for ①手段 (Means), ②対象 (Targets), and ③意図 (Intentions).

Table (3) 投入量 (事業費) の推移 (Trends in Input/Expenditure). Includes a detailed breakdown of costs by source (National, Prefecture, Local, etc.) and personnel.

Table comparing 30年度事業費実績 (Actual 30th Year Expenditure) and 01年度事業費予算 (Budgeted 01st Year Expenditure) for various items like 14 使用料及び賃借料.

Table (4) 当該年度の実施内容 (Implementation Content of the Current Year) with columns for 01年度, 02年度, and 03年度の事業内容.

事務事業名	藍工房管理運営事業	事務事業No.	20203000632	所属課	生涯学習課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
衰退しつつあった藍染めを保存・伝承する目的でふるさと文化振興基金を使い、藍染め講座を実施する中で真壁藍保存会が設立。実際に紺屋だった家屋を修繕し、土地を利用し真壁藍保存会に管理運営を委託した。今年度より、土地建物賃料の支払いは市が行い管理運営については真壁藍保存会が行う。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
化学染料を一切使っていない天然藍のため、日本古来の藍色の美しさを認識し天然藍を維持する材料費が高価なため染色代が高く、希少価値があり高級感もある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	藍の管理は難しく、かつ、きめ細やかな作業が求められます。現在、管理できる会員は数名しかおらず、負担が大きくなっている状況です。このことから、今後、藍を管理できる人材を公民館講座等により育成していく。また、工房の運営については、当面、市が施設の賃借を地権者と行い、運営については、自主運営とする。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	藍染めの体験をすることで、桜川市の伝統工芸に対して認識や関心が高まる。また、総合計画の伝統文化の保存・伝承につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市の伝統文化として捉えているため、公共性に取り組む必要がある。今後も真壁藍保存会により天然藍が適切に管理されるよう併せて人材の育成にも支援する。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	真壁藍保存会の管理技術、藍染技術の向上また、デザインセンスの向上により現在も体験学習や講座希望者の人数の増加など年齢層に変化がみられる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	真壁藍染めをなくすことになり、市民の文化活動が停滞し伝統工芸継承が滞る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	藍の管理は特殊技術を要するため管理は熟知していることが肝要である。平成30年度より委託業務は行わず、土地及び施設の賃借を市と地権者で締結(3年間)
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民が誰でも利用可能であり、受益の負担は公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	藍染めに興味をもつとは増えているが、市内の会員がなかなか増えない状況である。生きている藍の管理を担える市民が会員に加盟してくれるよう、はたらきかけが必要である。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑤																							
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>